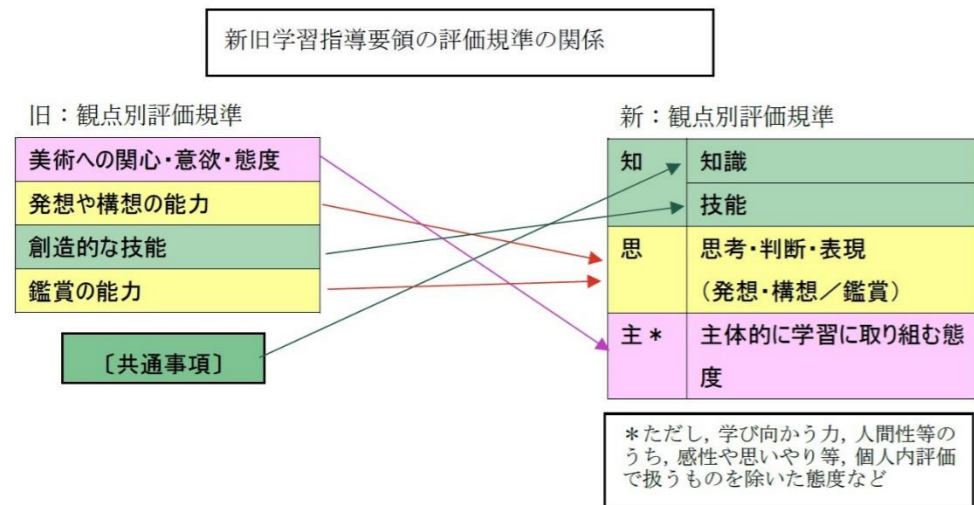


## 令和3年度に旧教科書の美術2・3を 使用する場合の移行措置資料

### ●評価規準について

令和3年度に3年生が使用する教科書は題材ごとにふり返りの4観点を示しています。これは評価の観点を示すことでそれに対応した、観点別の目標を生徒に捉えさせるという意図からです。今回の学習指導要領の改訂により評価の観点も「育成をめざす資質・能力の三つの柱」で整理されました。新旧の観点別評価規準については表に示すように変更されています。



### ●新旧学習指導要領の評価規準

観点が3観点になったことにより、上図のように捉えることができます。「美術への関心・意欲・態度」は「主体的に学習に取り組む態度」に、「発想や構想の能力」と「鑑賞の能力」は「思考・判断・表現」に、「創造的な技能」は「知識・技能」のうちの「技能」となっています。〔共通事項〕は今回の改訂で知識として整理されました。これを見てわかるように「思考・判断・表現」は「発想・構想」と「鑑賞」の二つを評価することになります。

なお「主体的に学習に取り組む態度」は、「学びに向かう力・人間性等」のうち、感性や思いやり等、個人内評価で扱うべきものを除いた態度などを評価するものとしています。

●本移行措置は令和3年度の3年生に配布されている教科書に対応したもので、令和4年度以降はすべての学年に新教科書が配布されます。

令和3年度から新学習指導要領に対応した美術科の新しい教科書が配布され、使用が開始されることになります。

美術科の教科書は、1年～3年で2分冊になっていますが、その内訳は学習指導要領の示し方に沿って、「美術1」（1年生用）、「美術2・3」（2年生及び3年生用）のくくりになっており、「美術2・3」は2年間使用されることになっています。

令和3年度は1年生に「美術1」、2年生に「美術2・3」の新しい教科書が配布されます。しかし、令和2年に旧学習指導要領に対応した教科書が配布、使用されていた2年生は、3年生になる令和3年度も引き続き継続して「美術2・3」（令和2年度配布）の教科書を使用することになります。

そこで、3年生が「美術2・3」（令和2年度配布）の教科書を使用することに関して、新学習指導要領に対応した内容の移行措置が必要になります。

新学習指導要領は長年にわたり目指してきた知・徳・体にわたる「生きる力」の育成という基本的な方向性に変化はありません。今回の改訂では「何のために何を学ぶのか」という各教科の意義を共有し、すべての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の、「育成をめざす資質・能力の三つの柱」に整理しました。このことは「生きる力」をより具体的に示したとも言えます。そして生徒が学習内容を深く理解するために「主体的・対話的で深い学び」を行うことが述べられています。

上記の通り、学習指導要領の今回の改訂では、これまでの枠組みや教育内容を維持しており、開隆堂の旧学習指導要領に対応した現行の美術科の教科書も、新学習指導要領における学習にも十分に対応できます。しかし新旧の学習指導要領の「目標」や「観点別評価規準」、あるいは文言の扱いの変更等、多少の移行措置が必要になるところがあります。

【凡例】

学習の 目標	知	知識や技能に関する目標
	思	思考力・判断力・表現力に関する目標
	学	学びに向かう力に関する目標

観点別 評価規準	知	知識・技能に関する評価規準
	思	思考・判断・表現に関する評価規準
	主	主体的に学習に取り組む態度に関する評価規準 [態表] 「主体的に学習する態度」の表現に関する評価規準。 [態鑑] 「主体的に学習する態度」の鑑賞に関する評価規準

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標					
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準		
				分野	各学年の内容				
2・3	とと● 、他 他人と 違 同 っ て い る こ こ	2～9	草間彌生の作品や富士山を対象にした作品を主体的に鑑賞し、「他人と違うこと」、「他人と同じであること」の意味を考え、自己への自信や他者への共感、自他の文化の理解など美術の学習における意義や重要性について主体的に考え理解を深める。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	それぞれの作品の造形的な特徴や作品が制作された背景を理解しよう。	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもってそれぞれの作品を全体のイメージで捉えることを理解している。
								技能	
					B鑑賞(1) ア(ア)	思	それぞれの作家が作品を通して伝えたかったことは何かを考え、作品の見方や感じ方を深めよう。	発想・構想	
								鑑賞	作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	美術の表現の多様性について関心をもち、主体的に取り組もう。	態表						
			態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、草間彌生の作品や富士山を描いた文化について考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	ら● し美 の術 中 は い つ も 生 活 や 暮	10～11	美術の学習を通して身につけた力を社会で生かしている人の言葉から、生活の中に生かす美術の意味について考える。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	それぞれの作者の造形的な取り組みや作品が制作された背景を理解しよう。	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもってそれぞれの作品を全体のイメージで捉えることを理解している。
								技能	
					B鑑賞(1) ア(イ)イ(イ)	思	それぞれの作者が造形活動を通して伝えたかったことや実現したかったことは何かを考え、作品の見方や感じ方を深めよう。	発想・構想	
								鑑賞	作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、使われる場面や作者の意図、創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	生活の中にある造形作品や表現活動について関心をもち、主体的に取り組もう。	態表						
			態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、生活の中にある美術作品や表現活動について考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	「● み ち」 に 思 い を 込 め て	12～17	「みち」のある風景を深く見つめて考えたことなどから、表現方法を工夫して「みち」に込めた思いを主体的に表現する。	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	奥行きや表現や色彩の効果を理解し、構図などを工夫しよう。	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもって奥行きや広がりなどを全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現(2) ア(ア)イ(イ)			技能	描画材料の特性を生かし、意図に応じて自分の描き方を追求して表している。
					A表現(1) ア(ア)	思	身近な風景から感じ取ったよさや美しさから表現の構想を練ろう。	発想・構想	身近な風景から感じ取った形や色彩のよさや美しさなどから主題を生み出し、単純化や省略など全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。
					B鑑賞(1) ア(ア)イ(イ)			鑑賞	風景画の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近な風景を表現するための作者の心情や意図、創造的な工夫について考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	身近な風景から感じ取ったよさや美しさから主題を生み出し、表現の構想を練ろう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、身近な風景がもつ形や色彩などから構想を練るなどして工夫して表す活動に主体的に取り組もうとしている。					
			態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、身近な風景がもつ形や色彩などをもって見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標						
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準			
				分野	各学年の内容		知	思	主	
2・3	ナ ● ● ● リ ● ● ● ザ ● ● ● 原 ● ● ● 寸 ● ● ● ネ ● ● ● ギ ● ● ● ヤ ● ● ● ン ● ● ● ラ ● ● ● ス ● ● ● の ● ● ● を ● ● ● ― ● ● ● 美 ● ● ● 描 ● ● ● モ ● ● ● 術 ● ● ● く ● ● ●  ※3題材を一 体的に扱う	18～23	レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」 や「モナ・リザ」をはじめとするルネサンス 期の作品を鑑賞することにより、作品の 意味、作者の心情や意図を考えなが ら、遠近法やその他の技法などの理解 を深める。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	ルネサンスの美術について理解しよ う。	知	知識	形や色彩、材料などの性質、立体感や遠近感などをとにルネサンスの美術について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
									技能	
					B鑑賞 (1) ア(ア)イ(イ)	思	ルネサンス美術の造形的なよさや 美しさを感じ取り、見方や感じ方 を深めよう。	思	発想・ 構想	
									鑑賞	西洋で受け継がれてきた表現の特質などからルネサンスの美術作品がもつよさや美しさなどを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の 意図や表現の工夫、関連する文化や社会について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価 規準はこのうち観点別評 価になじむもの	学	ルネサンスの美術に興味をもち、 主体的に鑑賞しよう。	主	態表						
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、ルネサンスの美術作品や関連する美術や科学などの文化を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の 学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	自 ● ● ● 分 ● ● ● を ● ● ● 見 ● ● ● つ ● ● ● め ● ● ● 、 ● ● ● 表 ● ● ● そ ● ● ● う ● ● ●	24～27	自分自身をよく観察し、特徴を捉えたり、 気に入っている姿を強調したりして、 さまざまな表現方法を用いながら、今の 自分を主体的に表現する。	表現 (絵・ 彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	色彩や材料などの性質を理解し、 自分らしさを表す方法を工夫しよ う。	知	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをとに、自分らしさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (ア)				技能	描画材料の特性を生かし、意図に応じて自分の描き方を追求して表している。
					A表現 (1) ア (ア)	思	自分自身と向き合うことから主題 を生み出し、表現の構想を練ろ う。	思	発想・ 構想	自分自身の表情や姿から感じ取ったことや考えたことなどから主題を生み出し、単純化や強調など全体の構成を考えながら心豊かに表現する 構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	自画像の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分自身を表現するための作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意 識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価 規準はこのうち観点別評 価になじむもの	学	自分らしさを表すことに関心をもち、 主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、自分自身から感じ取ったことや自分自身について考えたことなどをもとにした表現の学習活動に主体的に取 り組もうとしている。					
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、自画像の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	心 ● ● ● の ● ● ● 世 ● ● ● 界 ● ● ● を ● ● ● 描 ● ● ● こ ● ● ● う ● ● ●	28～31	空想や想像の世界を広げたり考えたりし て、さまざまな表現方法を用いながら感 じ取ったことや考えたことなどを主体的に 表現する。	表現 (絵・ 彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	色彩や材料などの性質を理解し、 想像の世界を表す方法を工夫し よう。	知	知識	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをとに全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (ア)				技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現のしかたを追求して表している。
					A表現 (1) ア (ア)	思	想像を広げ、思いついた世界から 主題を生み出し、表現する作品の 構想を練ろう。	思	発想・ 構想	風景や動植物、想像した心の世界などから主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考えながら材料や用具の特徴を生かし心豊かに表 現する構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	想像の世界を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高 め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価 規準はこのうち観点別評 価になじむもの	学	夢や想像の世界を表現することに 関心をもち、主体的に取り組も う。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、風景や動植物、想像した心の世界などから感じ取ったことや考えたことなどをもとに材料や用具の特徴を生 かした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、夢や想像の世界を表した作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	刷 ● ● ● り ● ● ● 取 ● ● ● ら ● ● ● れ ● ● ● た ● ● ● 美 ● ● ● し ● ● ● さ ● ● ●	32・33	さまざまな版表現を理解し、版に表すこ このよさや効果を学び、工夫を重ねなが ら発想や構想を深めて表現する。	表現 (絵・ 彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	版表現の技法や効果を理解し、 彫りや刷りを工夫しよう。	知	知識	版表現を通して形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをとに、全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (ア)イ(イ)				技能	版表現の材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し制作の順序を考えながら見直しをもって表している。
					A表現 (1) ア (ア)	思	対象を深く見つめて主題を生み出 し、その特徴から表したいことを考 え、版の効果を生かして表現の構 想を練ろう。	思	発想・ 構想	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとに主題を生み出し、画面全体の調和や材料の特徴などを考え創造的な構成を工夫し ながら心豊かに版表現の構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(ア)				鑑賞	版表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価 規準はこのうち観点別評 価になじむもの	学	版で表すことに関心をもち、主体 的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさや面白さをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする版表現の学習活動 に主体的に取り組もうとしている。					
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく版表現を用いた作品などの見方や感じ方を広げる学習活動に主体的に取り組もうとしている。					

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標				
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準	
				分野	各学年の内容		知	思
2・3	●セ   形   ジ   や   色   彩   か   ら   の   メ   ッ	34～37	主題などをもとに想像力を働かせ、単純化や省略、強調したり、思いつくままに表現したりするなどして抽象的な表現を主体的に行う。	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	知識	形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに抽象的な表現について全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現(2) ア(ア)			技能
					A表現(1) ア(ア)	思	発想・ 構想	心の中を深く見つめ、感じ取ったり考えたりしたことから主題を生み出し、表現の構想を練ろう。
					B鑑賞(1) ア(ア)			鑑賞
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとにした抽象的な表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
	態鑑		美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとにした抽象的に表現された作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	●ン   む   か   し   む   か   し   の   ア   ニ   メ   ー   シ   ョ	38～43	我が国の美術文化の一つである絵巻物などの物語表現を理解し、そのよさや効果を学び、工夫を重ねながら発想や構想を深めて表現する。	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	知識	形や色彩、余白や空間の効果をもとに絵巻物の作品について見立てたり心情などと関連づけたりするなどして全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
					A表現(2) ア(ア)(イ)			技能
					A表現(1) ア(ア)	思	発想・ 構想	絵巻物のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。
					B鑑賞(1) ア(ア)(イ)			鑑賞
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、物語を絵巻物などの形式で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
	態鑑		美術の創造活動の喜びを味わい、絵巻物の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	●水   墨   画   の   世   界	44・45	東洋の美術文化の一つである水墨画の表現を理解し、そのよさや効果を学び、工夫を重ねながら発想や構想を深めて表現する。	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	知識	形や色彩、墨などの材料が感情にもたらす効果や墨がもつ造形的な特徴をもとに全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現(2) ア(ア)			技能
					A表現(1) ア(ア)	思	発想・ 構想	墨による表現の特徴を生かして主題を生み出し、表現の構想を練ろう。
					B鑑賞(1) ア(ア)(イ)			鑑賞
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、風景や墨の特徴などから感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
	態鑑		美術の創造活動の喜びを味わい、墨の特徴を生かした作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	●長   谷   川   久   蔵   「   桜   図   」	46・47	造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを原寸大の図版から主体的に感じ取り、美術文化に関心をもつ。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や胡粉で立体的に盛り上げて描かれた造形的な特徴などをもとに長谷川久蔵の作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
								技能
						思	発想・ 構想	作品に込めた長谷川久蔵の心情や表現の工夫を考えよう。
					B鑑賞(1) ア(イ)(イ)			鑑賞
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	主	態表					
	態鑑		美術の創造活動の喜びを味わい長谷川久蔵の作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標					
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準		
				分野	各学年の内容		知	思	主
2・3	● 江戸の美に学ぶ 琳派	48～51	日本の美術文化に影響を与えた琳派の造形によさや美しさを味わうとともに、和の造形感覚を生活の中に生かす表現について学ぶ。	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	琳派の造形的な特徴を理解しよう。	知識	形や色彩、材料などの性質や、構成の美しさなどをとくに琳派の作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (ア)(イ)			技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を工夫して、政策の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。
					A表現 (1) イ (ア)	思	琳派の造形によさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深めよう。	発想・構想	構成や装飾の目的や条件などをとくに、用いる場面などのイメージから主題を生み出し、琳派の造形の特徴などを考え、創造的に構成を工夫するなどして、心豊かに表現数々構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(イ)			鑑賞	琳派の作品がもつよさや美しさを感じ取り、独特のデザイン性を用いた作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承や創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	琳派の造形に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、琳派の造形から感じ取ったことなどをとにした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、琳派の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。								
2・3	● ゴッホと日本	52・53	ゴッホの作品を鑑賞することにより、作品の意味、作者の心情や意図を考えながら、日本美術がゴッホに与えた影響などに理解を深める。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	色彩の特徴や筆使いの変化を理解し、ゴッホの作風を捉えよう。	知識	形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをとくにゴッホの絵から感じる情熱や静けさ、生命感などの感情を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
								技能	
					B鑑賞 (1) ア(ア)	思	作品に込めたゴッホの心情や表現の工夫を考えよう。	発想・構想	
								鑑賞	ゴッホの作品の造形的なよさや美しさを感じ取りゴッホの心情や意図と、創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	ゴッホとその作品に関心をもち、主体的に鑑賞しよう。	態表						
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わいゴッホの作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。								
2・3	● 空間や材料と響き合う形	54～57	空間や材料から受けるイメージを大切に、想像力を働かせ、単純化や省略、強調をするなどして環境を意識した抽象的な立体表現を主体的に行う。	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	環境と響き合う形や色彩などの特徴を理解し、表現方法を工夫しよう。	知識	形や色彩、材料の質感や周囲の環境などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをとくに、それらがもつ美しさや豊かさ、環境との調和などについて全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (ア)(イ)			技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序や環境との関係性などを総合的に考えながら見通しをもって表している。
					A表現 (1) ア (ア)	思	作品を設置する場所から主題を生み出し、構想を練ろう。	発想・構想	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをとくに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(ア)(イ)			鑑賞	対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したこと、まわりの空間との関係性などをとくに作られた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	身近な環境と響き合う彫刻に関心をもち、主体的に取り組もう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをとくに創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間との関係性などがもたらす美しさや豊かさなどをとくに制作された立体の作品について鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。								
2・3	● 動きや空間を表現したものの	58～61	人体をよく観察し、人体のもつよさや美しさを感じ取り、生き生きとした一瞬の姿をまわりの空間を意識して主体的に表現する。	表現 (絵・彫刻)	〔共通事項〕(1) アイ	知	場所や場面を空間として捉え、材料などを工夫して表そう。	知識	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、立体感や遠近感、量感など造形的な特徴などをとくに、場面や空間がもつよさや美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (ア)(イ)			技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序を考えながら見通しをもって表している。
					A表現 (1) ア (ア)	思	心に残った出来事や情景から表したいことを考えて主題を生み出し、表現の構想を練ろう。	発想・構想	人体のもつよさや美しさ、心に残った場面などから主題を生み出し、省略や強調、創造的な構成や材料の工夫などを考え、心豊かに表現する構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(ア)			鑑賞	人体のもつよさや美しさ、心に残った場面などをとくに作られた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	情景を立体的に表現することに関心をもち、主体的に取り組もう。	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、人体のもつよさや美しさ、心に残った場面などをとにした立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい人体のもつよさや美しさ、心に残った場面などをとにした立体作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。								

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標						
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準			
				分野	各学年の内容		知	思	主	
2・3	● 祈りの造形	62・63	仏像のもつ造形的なよさや美しさ、時代ごとの表現の工夫などを主体的に感じ取り、美術文化に関心をもつ。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	仏像に特有な造形表現について理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに仏像について空間の効果、量感や動勢など全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (7)(4)				技能	
					A表現 (1) イ(4)(ウ)	思	仏像の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	
					B鑑賞 (1) イ(4)				鑑賞	仏像がもつよさや美しさ、優しさや力強さ、静寂さなどを感じ取り、それぞれの時代ごとの表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	仏像に興味をもち、主体的に鑑賞しよう。	主	態表						
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい仏像や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。									
2・3	● 暮らしの中のものをデザインの視点で見つめ直し、目的や条件などをもとに形や色彩を簡潔化するなどして構成や装飾を考え、作品を主体的に表現する。	64～69	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	形や色彩などの性質を理解し、飾ったり伝えたり使ったりするデザインを工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、暮らしや気持ちを豊かにするデザインについて全体のイメージで捉えることを理解している。	
				A表現 (2) ア (7)(4)				技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	
				A表現 (1) イ(7)(4)(ウ)	思	目的や用途から発想して主題を生み出し、飾ったり伝えたり使ったりするデザインを考えよう。	思	発想・構想	目的や条件などをもとに、飾ったり伝えたり使ったりする場面などのイメージなどから主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	
				B鑑賞 (1) ア(4)				鑑賞	暮らしや気持ちを豊かにするデザインの洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	飾ったり伝えたり使ったりするデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの調和を総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、暮らしや気持ちを豊かにするデザインの美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。									
2・3	● 世界が伝えるデザインのコミュニケーションの	70～77	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	伝えるためのデザインの役割や効果について理解しよう。	知	知識	形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、構成の美しさなどの造形的な特徴などをもとに、わかりやすさと美しさとの調和などを全体のイメージで捉えることを理解している。	
				A表現 (2) ア (7)(4)				技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	
				A表現 (1) イ (4)	思	伝える目的や用途から発想し主題を生み出し、伝えたい内容や相手に合った方法やデザインを考えよう。	思	発想・構想	意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	
				B鑑賞 (1) ア(4)				鑑賞	伝達のデザインの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	わかりやすく伝えるデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。									
2・3	● やさしさを形と色彩に込めて	78・79	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	形や色彩などの性質を理解し人に使ってもらおう作品の形や装飾を工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。	
				A表現 (2) ア (7)(4)				技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	
				A表現 (1) イ (ウ)	思	目的や用途から発想して主題を生み出し、人に使ってもらおうための機能的で美しいデザインを考えよう。	思	発想・構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使ってもらおう作品の機能と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	
				B鑑賞 (1) ア(4)				鑑賞	作品の機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	人に使ってもらおうためのデザインに関心をもち、主体的に表現しよう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、人に使ってもらおうためのデザインの洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。									

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標						
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準			
				分野	各学年の内容		知	思	主	
2・3	● 心豊かになる環境をデザインする空間	80～83	心が豊かになる建築物や空間をデザインすることの意味を総合的に学び、主体的に表現する。	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	形や色彩、材料の性質を理解し、空間を表現する方法を工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料や光などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (7)(4)				技能	意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。
					A表現 (1) イ (7)	思	空間の用途や機能から発想して主題を生み出し、快適で美しい演出を構想しよう。	思	発想・構想	構成や装飾の目的や条件などをもとに、用いる場面や環境、社会との関係などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて快適な空間のための調和のとれた美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(4)				鑑賞	構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	空間の演出に関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた美しさを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や条件と快適な空間のための調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。									
2・3	● 美しい空間を演出する	84～87	空間を演出する光や明かり、映像に関心をもち、主体的に表現する。	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	材料や光の性質を理解し、生活の中で生きる明かりを工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料や光などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (7)(4)				技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。
					A表現 (1) イ (7)	思	使う目的や用途から発想して主題を生み出し、美しい明りの作品を構想しよう。	思	発想・構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(4)				鑑賞	明かりや空間のデザインの目的や機能と調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	明りの光の美しさに関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料や光などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場所などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、明かりや空間のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。									
2・3	● 生活に生かす、木でつくる工芸	88・89	材料のよさや美しさを生かして、生活の中で使用するものを主体的に表現し、機能的なよさや美しさを学ぶ。	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	木の性質を理解し、使うものづくり方を工夫しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現 (2) ア (7)(4)				技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。
					A表現 (1) イ (7)	思	使う目的や用途から発想して主題を生み出し、安全で楽しく使える作品を考えよう。	思	発想・構想	使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、機能やユーモア、使いやすさ、機能性、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。
					B鑑賞 (1) ア(4)				鑑賞	木工芸品の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標 (3) より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	木でつくられた工芸品に関心をもち、主体的に取り組もう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面などの特徴を総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、木の工芸品の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。									

教科書の内容				新学習指導要領における内容や目標						
学年	題材名	ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	学習指導要領との関連		学習の目標	観点別評価規準			
				分野	各学年の内容		知	思	主	
2・3	● 人が つく る、 技を 極め る	90～95	我が国の伝統工芸のよさや美しさに関心をもち、機能を考えながら材料や用具の特性を生かして主体的に表現する。	表現 (デザイン・工芸)	〔共通事項〕(1) アイ	知	材料の特徴を生かした伝統工芸品のよさや美しさを理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。
					A表現(2) ア(ア)(イ)				技能	材料や用具の特性を理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。
					A表現(1) イ(ウ)	思	伝統工芸のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を理解しよう。	思	発想・構想	使う目的や条件、表現技法などをもとに、使用する者の立場、使用する場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、機能性、安全性と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。
					B鑑賞(1) ア(イ)(イ)				鑑賞	伝統工芸品の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	地域や伝統に根差した造形やデザインに関心をもちよう。	主	態表	美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、目的や機能と美しさとの調和、使用する者の気持ち、使用する場面などの特徴を総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、伝統工芸品の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	● 生きる ことと 美術	96～98	ゴムリーなどの現代美術作品を主体的に鑑賞し、作者の心情や意図と作品の意味を感じ取ることにより、私たちの生命、世代の継承・世代間の責任、社会の課題、他者との共生などのさまざまな問題について考える。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	それぞれの作品の造形的な特徴、作品が制作された背景を理解しよう。	知	知識	形や色彩、材料や光など性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、アントニー・ゴムリーや会田誠などの作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
									技能	
					B鑑賞(1) ア(イ)(イ)	思	それぞれの作家が作品を通して伝えたかったことは何か話し合い、見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	
									鑑賞	表現の特質などからアントニー・ゴムリーや会田誠などの作品がもつよさや美しさ、強さや意味深さなどを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	世界に働きかける美術について関心をもちよう。	主	態表						
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、作者の制作の意図や表現の工夫、社会に対する主張、関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					
2・3	● ゲル ニカ	99～101	ゲルニカを主体的に鑑賞し、作者の心情や意図と作品の意味を感じ取り、見方を深め、芸術表現の意味を考えるとともに、鑑賞による学びを今後の行動に生かすことについて考える。	鑑賞	〔共通事項〕(1) アイ	知	ゲルニカが描かれた背景や造形表現について理解しよう。	知	知識	形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、ゲルニカを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。
									技能	
					B鑑賞(1) ア(ア)	思	ピカソの表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を深めよう。	思	発想・構想	
									鑑賞	表現の特質などからゲルニカがもつよさや意味深さを感じ取り、ピカソの制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
*目標(3)より。評価規準はこのうち観点別評価になじむもの	学	平和や命の尊さについて関心をもちよう。	主	態表						
				態鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、ピカソの制作の意図や表現の工夫、ゲルニカや関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					